

東京岩高会会報

第67号
令和7年7月13日

総会開催案内

東京に岩高家族の
笑顔の花を咲かせよう

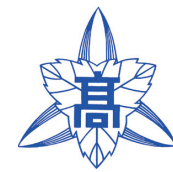
第69回 東京岩高会総会

令和7年11月23日(日曜日)
午前11時開会(KKRホテル東京)

詳細は2ページに掲載

「栗駒山中央コース」

写真「東京岩高会ふるさと大使 土井祐之氏 S.54卒」



第69回 東京岩高会 総会 開催ご案内

平素より、当会の活動に対しまして、ご理解・ご協力を頂きまして御礼申し上げます。これも諸先輩方・ご関係の皆様方のお支えがあつてのことと存じます。改めて御礼申し上げます。

今年の総会は下記のとおり予定しておりますので、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

- (1) と き：令和7年11月23日(日) 11:00～14:00
- (2) と こ ろ：「KKR ホテル東京」
東京都千代田区大手町1-4-1
TEL 03-3287-2921
- (3) 会 費：8,000円
- (4) 出欠連絡：10月31日(金) までにご連絡を頂きますようお願い致します。
※連絡先
支部長：長沼 和秋 090-5339-8141
幹事長：高橋 聖 080-5034-0179
- (5) ご 講 演：豊嶋潤さん(昭60年卒)
宮城県復興・危機管理部 危機管理監
「消防の現状」
- (6) 還 暦 の 会：今年は昭59年卒が対象であり、当日は当会よりお祝いを進呈致します。
お誘い合わせの上お越し下さいますようご案内申し上げます。

会費およびキャンセルについては下記のとおりとさせていただきますのでご了承の程、お願い致します。

会 費

- ・会費は当日申し受け致しますが、年会費もご協力頂ける方は
総会会費と併せてお振り込みをお願い致します。
(3,000円+8,000円)
- ※振込み先「東京岩高会 00170-3-55498」
- ※振込み手数料はご負担願います。

キャンセル

出席から欠席に変更される場合は11月20日(木) までに必ずご連絡下さい。
それ以降のキャンセルの場合は、会場手配の関係でご返金できませんので、ご了承の程、お願い致します。

私の原点



長沼 和秋
同窓会東京支部長
(就任 平28/11)
昭53年卒
鷺沢出身

ネパール ヒマラヤトレッキング 標高4200m/S.59 (1984年)

私の3本柱「同窓会」「マラソン」「ネパール」の原点は、高校時代に陸上競技部で3年間走っていたこと迄に遡ります。当時部員は10数名、顧問は角屋勇夫先生(昭46、昭56在職)・箱根駅伝にも出場された凄腕先生で、日々の練習だけでなく土曜日にも指導にあたっていました。当時我々部員達はせめて土曜日はノンビリとした練習で過ごしたいと思っていた中、角屋先生の教えは厳しく、付いていくのがやっとでした。角屋先生にとつての休日、本来であればご家族と過ごすべき時間を我々部員のためにさいて頂き、大会等への部員の送迎手段として自家用車を大型車にまでされ、ご家庭を犠牲にされていたことを知るのには、私自身家庭を持つようになった時でした。

平素より、東京岩高会に対しまして、ご理解・ご協力を頂いておりまして御礼申し上げます。
第68回東京岩高会総会は、令和6年11月23日(土) 蘇武徳行同窓会会長、村上孝志校長先生、豊嶋潤仙台支部長など48名のご出席を頂き開催致しました。会を開催する度々以後藤仁先輩(昭45)から、とても多くのスイーッポテトを頂き、今回も全出席者にお配りさせて頂きました。

2月には9年前より開催されている第8回栗原市4校高等学校同窓会交流会(築高・迫桜高・岩高・一迫商高)が開催され34名出席。母校の近況、高校時代の懐かしい話題そして出席者の現在の活動などを語り合う等 次年度に繋がる会となりました。

角屋先生の指導のお陰で、3年生(1978年)の時は、走り高跳び/土井祐之さん(昭54)、やり投げ/大関喜久美さん(昭53)、1600mリレー/狩野隆さん(昭54)、菅原康弘さん(昭54)、二階堂衛さん(昭53)、長沼和秋(昭53)で東北大会に出場することができ、2年後には佐々木方明さん(昭55)は400mで全国大会に出場するなど、岩高陸上競技部の全盛期を作り上げて頂きました。

青年海外協力隊(現JICA海外協力隊)でネパールに陸上競技のコーチとして行くことができたのも、陸上競技部で角屋先生のお教えを受けたこと、そして2年・3年の担任だった高橋忠先生がエチオピアで同協力隊員として派遣されており、現地での活動写真やお話を伺っていたことも、海外への道へと導いて頂くことになりました。

ネパールとの繋がりも41年、首都で開催されるカトマンズマラソンにも5回出場しており、当時の選手たちは、今ではオリンピック委員会や体育協会の要職を務め、マラソン大会の開催や国際大会に選手を派遣するなどネパールスポーツ界をリードしており、ネパールで旧友と会う度にヒマラヤパワーを頂いています。

「同窓会」と「ネパール」、人との繋がりを益々感じつつ、この絆はこれまでと変わることはなく、より強いものにしていかなければなりません。今年も私の3本柱であります「同窓会」「マラソン」「ネパール」、しっかりと務めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

※氏家美音さん(昭55)のお孫さん氏家颯君(当時築館中は2024年全国中学陸上4種競技第1位 28829点(100mハードル14.22秒、砲丸投げ12m86、走高跳1m68、400m52.67秒))



栗原・登米地区予選400mリレー /S.53 (左から狩野隆さんS.54、二階堂衛さんS.53)



2024宮城県マスターズ選手権(左から菅原喜悦さんS.50、長沼、角屋勇夫先生/マスターズ名誉会長、氏家美音さんS.55)



宮城県総体 1600mリレー 6位 東北大会出場決定/S.53 (左から菅原康弘さんS.54、狩野隆さんS.54、長沼、二階堂衛さんS.53)

—今年の総会会場— KKRホテル東京 (東京共済会館)

皇居を望む
素晴らしい眺望の
総会会場をご用意致しました。

◆アクセス

- いずれも徒歩5分
- ・東京メトロ東西線「竹橋駅」3b 出口直結
- ・東京メトロ千代田線「大手町駅」C2 出口
- ・都営地下鉄「神保町駅」A9 出口
- ※JR東京駅からは徒歩20分





蘇武 徳行
岩高同窓会会長
(就任 令5/8)
昭47年卒
鶯沢出身

日頃、東京岩高会の皆様には、いつもご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。長沼支部長をはじめ、佐々木顧問、高橋幹事長、並びに鎌田会計監査様には常日頃ご連絡を頂き心強い限りです。昨年の11月東京岩高会では楽しい時間を過ごさせて頂きました。いつも歓迎を頂き、お力を頂いております。

2月28日卒業生25名の同窓会入会式が行われ、長沼支部長が短時間にもかかわらず、遠路ご出席のうえ、激励のご挨拶を頂きました。

また、翌日の3月1日には卒業式、4月7日には入学式が挙行されました。今年度は18名という少ない入学生ですが、岩ヶ崎高校を選んできた生徒さんに感謝いたします。

さて、現代は、スマホやコンピュータが普及し、AIやロボットがなんでもやってくれる時代となりました。その分、効率化・省力化が重視され、コス



同窓会入会式長沼東京支部長挨拶 R7.2

パ・タイプが標榜されます。だからといって、生き方そのものまでも、効率重視でよいのでしょうか。そういう今だからこそ、真面目に正直に正攻法で挑むことが大切だと思います。ずるく立ち回ったものが勝つという世の中にはしたくありません。たとえ、その場、その時には結果が伴わなくとも、ひたむきに挑んだことが、その人を豊かにし、必ずその後の人生を実りあるものにしてくれると信じています。それに、真摯に生きる姿勢を評価してくれる人がきつ

ていると思います。結びになりますが、岩ヶ崎高校の行末を案ずる声をたくさん頂いております。今後も役員一同、力を合わせて、全力で取り組んでまいります。

何卒、東京岩高会の皆様には、今後ともよろしくご支援をお願いいたします。



卒業式 R7.3

岩ヶ崎高校の今



原畑 聖子
第28代学校長
(赴任 令7/4～)

東京岩高会の皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

この度、村上孝志前校長の後任として、伝統ある岩ヶ崎高校へ赴任いたしました。県北出身ですが栗原地区の勤務は初めてですので、新たな気持ちで校務運営にあたっております。どうぞよろしく願います。

さて、本校は、今年で創立八十四年目を迎えております。4月7日の入学式は天候にも恵まれ、明るい日差しの下、18名の1年生が、紺色のブレザーとブルーのチェックのボトム、ストライプのネクタイやリボンの新制服に身を包んで入学式を迎え、岩高生としてのスタートを切りました。全校生徒55名、栗原市の人口減少もあり、同窓生の皆様が在籍していた時代と比べるととても

寂しい規模となっておりますが、生徒たちは、学習、部活動、生徒会活動等に熱心に取り組んでおります。ひとり一人を丁寧に育てる岩高の魅力を発信し、一人でも多くの生徒が入学するよう、教職員一同取り組んでおります。

私が赴任してまず目にしたものは、生徒昇降口脇の「尚志育英」と刻まれた碑でした。岩ヶ崎高校が地域の方々の強い想いで設置され、県立高校へと移管された経緯を読み、胸が熱くなりました。また、生徒たちが素直で、まっすぐ視線を前に向けて、何事にもひたむきに取り組む姿に心うたれました。そして、先生方がひとり一人と向き合い、丁寧に指導する様子は、まさに建学の精神「尚志育英」を体現していると感じております。岩高だからできること、岩高でなければできないことがあるという想いを強くしました。

生徒たちの努力と先生方の丁寧な指導が実を結び、令和6年度卒業生(25名)の進路実績は、国公立大学11名、私立大学のべ23名の合格、県職員(学校事務)合格など、素晴らしい成果となりました。

今後、これまでの伝統を受け継ぎ、小規模・少人数での教育活動の実践で培った実績を生かしながら、魅力ある

学校づくりを進めていきたいと思っておりますので、引き続き御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、東京岩高会の皆様の更なる御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。



新制服での1年生 R7.4



入学式 R7.4



生徒会役員による校歌披露 R7.4

宮城県における消防



豊嶋 潤
岩高同窓会
仙台支部長
(就任 令4/8)
昭60年卒
尾松出身

仙台支部長の豊嶋潤と申します。早速ですが、仙台支部の近況を報告させていただきます。近況と申し上げても年1回の懇親会しか行っていないのですが、今年は29人の方々に参加いただきました。雪が降り足下の悪い中でしたが、東京支部から長沼支部長と佐々木顧問の出席をいただきました。改めて感謝申し上げます。来年も2月第1週の金曜日である令和8年2月6日の開催を予定しておりますので、東京支部の皆さまにおかれましては、仙台近郊にいる親戚や同級生などへのお声がけをよろしくお願いいたしますですね。

私はといいますと、昨年4月に消防学校に異動し、様々な学生と一緒に1年間過ごさせていただきました。そもそも、皆さんは消防学校ってどんなところなのか知っていますか。法律で都道府県には必ず設置しなければならないので、全国に55校あります。そのうち、

都道府県が設置しているのは48校(東京都が2校)で、千葉市や横浜市などの政令指定都市が7校設置しています。入校者は、宮城県内11の消防本部の消防士並びに各市町村の消防団員の方々です。宮城県の場合は、新任消防士は消防学校で1年間、全寮制での研修です。1年間の研修は全国で唯一なんですよ。また、宮城県職員に消防士はいませんので、教官も県内の消防本部から派遣してもらって運営しています。講義のデジタル化も進んでいまして、学生にタブレット端末を配布して、全ての講義資料や訓練の動画などが見られるようになっていきます。効果測定もタブレット端末で行い、試験終了と同時に個々の点数や平均点数、間違いの多い分野も分かるので、教官はその結果を踏まえた講義を行うことで学生の熟度を高めています。また、講義資料の印刷の手間も無いので、教官の働き方改革にも役立っています。アナログ人間の私は、どうしても



東京支部総会同級生と R6.11

紙が手元にあって、その紙にマーカーしたりメモを入れることで覚え気になるのですが、もうこの考えは古いのかもしれないですね。書面の関係上、消防士や消防団の現状等については、改めて説明したいと思います。御興味のある方は、今年も東京支部の総会に出席予定ですので、その際にも、お声がけいただければ幸いです。



仙台支部総会 R7.2

岩ヶ崎高校の近況



佐藤 和之
岩ヶ崎高校
総務部長
昭60年卒
岩ヶ崎出身

今年の栗駒は春の訪れがずいぶん遅く、5月になってようやく寒さを感じる日が少なくなってきた、今日この頃は。昨年は入学式が終わるとすぐに撮影した桜の下でのクラス写真が、今年は満開が遅く日程を4月中旬に変更し撮影しました。栗駒山の残雪もたくさん残っています。

令和7年の入学生は定員を大きく下回っているものの、昨年より多い18名となりましたので、生徒も教職員も岩高のこれからに明るい兆しを感じています。新入生は長い間の懸案で遂に改定した新制服第1期生で、濃紺を基調としたジャケットと紺のスラックスまたは紺に青や水色のチェック柄のスカート(いずれも自由に選択可)、そして繊細なストライプ柄を基調としたネクタイ・リボン(自由選択可)の制服は、落ち着きと清新さを併せ持つデザイン

ので、ぜひご覧ください。

次に、昨年度の岩高生の活躍を報告させていただきます。進路状況は卒業生25名のうち、国公立大学11名(44%)、私立大学6名(24%)と四年生大学進学者が約7割で、その他は公立短大3名、高看2名、就職2名(公務員1・民間1)、受験準備等1名でした。近年の岩高生は国公立大学等への進学志向が年々強まっており、進学希望者に占める国公立進学率は宮城県内でも有数の高さとなっています。

部活動では文化部の活躍がめざましく、軽音楽部は第4回全国高校軽音楽部大会[we are SNEAKER AGES]で、一昨年に引き続き東北大会準グランプリとなり、大阪で開催された全国大会に出場し、素晴らしい演奏がYouTubeを通して全国に生配信されました。出場にあたり、東京岩高会の多くの皆様からご支援をいただきありがとうございました。また、科学部は2年生部員が宮城県の代表として「ぎふ全国高校総文祭」に参加し、研究成果を発表しました。全国から集まった学校の研究のレベルの高さを肌で感じたようで、この経験をもとに、秋の宮城県高校生理科研究発表会でも部会長賞に輝きました。

文化部の活躍の一方で、運動部は単独チームで出場できる競技が少なくなっている現状です。部員が少ない中でソフトテニス部が栗原・登米支部新入大会女子個人戦で第2位となりました。1学年違いのペアが息の合ったプレイで勝ち進みました。またバドミントン部は、同じく支部新人の女子団体に単独チームとして出場し、3位入賞を果たしました。男子3名、女子4名の部員が毎日遅くまで練習に励んでいます。バレーボール部女子と卓球部女子は今年3年生がチームの中心となっており、剣道部は2年生女子部員が1名の活動を続けています。

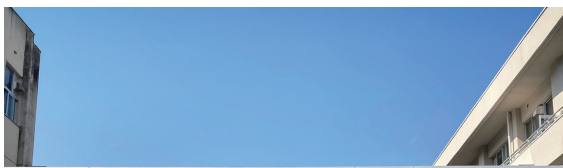
4月の末に行われたPTA総会は、約5割の保護者等が出席しました。年々出席率が上がってきており、それぞれのご家庭からの温かいご支援に感謝する一方で、学校への期待の大きさ、岩高の教育をさらに良いものしなければという使命感を感じております。栗原市の若者の潜在力を引き出す教育に邁進し、本校の存在価値を高めていきたいと思えます。東京岩高会の皆様にも、さらなるご支援とご鞭撻をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



県総体・女子バレー部



7 県総体・卓球部



本校



1月 進路体験発表会



8月 夏期学習会



生徒会では、四月上旬に対面式と新入生オリエンテーションを行いました。今年から新たにアイスブレイクの時間を取り、一年生の緊張をほぐすと共に距離を縮めました。先日には生徒総会が行われ、とある高校が実践して学校の特色化に繋がったことから「岩高のマスコットキャラクターを作る」という提案が出ました。新しいことにどんなチャレンジしていくことで、より

さて、昨年度から引き続き今年度も岩ヶ崎高校の教育目標『尚志育英』に則り、生徒皆文武両道に励んでいます。特に部活動では昨年度に全国大会へ行った軽音楽部や科学部に続き、一昨年度に新しく設立されたバドミントン部や部員が一人の中で一生懸命練習をしている剣道部など、運動部から文化部までが五月・六月に行われる高校総体や支部総合文化祭に向けて日々の活動を頑張っています。高校総体は各運動部三年生が仲間と共に努力してきた集大成を示す大会です。中学校ではコロナウィルスの影響で大会が中止になりました、思うように練習ができなかったりしたかと思います。高校でも生徒数の減少に伴い、合同チームでの出場や個人戦のみの出場など思い描いていたものとは違うかも知れませんが、共に励まし合い、競い合ってきた仲間や側で支えてくれている家族や先生方への感謝を忘れず、最後は笑顔で終われるように頑張ってきてほしいと願っています。

最後に、生徒数の減少が課題となっている岩ヶ崎高校ではありますが、生



《全国大会出場メンバー》
伊藤聖渚 (Dr. 3年) 佐藤月姫 (Vo. 3年)
岡田陽太 (Gt. 3年) 三浦美玖 (Ba. 3年)
日野ひなた (Key/Cho. 3年)
高橋真衣 (Per. 2年) 阿部真奈 (Key/Cho. 2年)

NEAKER AGES

第4回
全国高校 軽音楽部大会
2024.12.22
グランキューブ大阪
(大阪市北区東長町)

「we are /
SNEAKER AGES」

《第4回全国高校軽音楽部大会》
全国大会出場

「we are /
SNEAKER AGES」

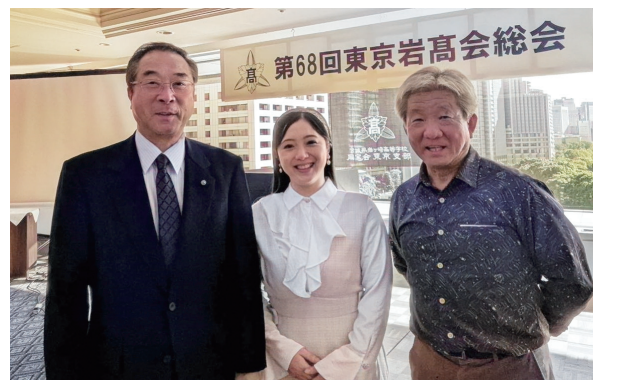
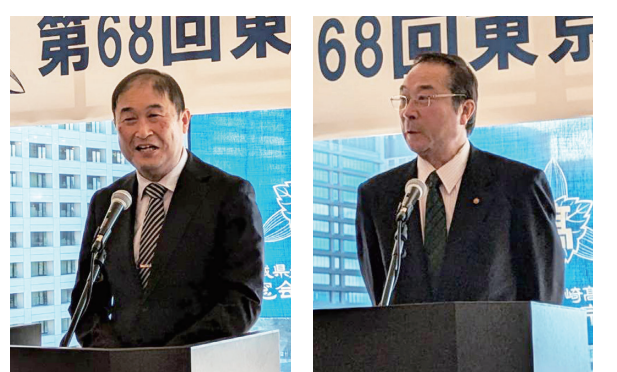
評言
この度は、若く時高秋聲音楽部の全国大会に際しまして、多大なる御支援をいただき、誠にありがとうございます。また、様々な場面でご覧になり、感じていることが、感謝、御翼一同感謝しております。

お返事、全国で大きなステージで演奏し、仲間たちとめぐりぬけるの時間を通うことができて、またきたら三年生は、三年間、集大成として良い演奏ができたことを嬉しく思っています。一年生は、これからの部活動への経験、大切な思い出となります。一人一人に、貴重なる経験、大切な思い出となります。

また、全国大会に出場するにあたり、緊張や不安もありました。心、応援してくださる方が多いというところ、私たちが、とても大きな励みになりました。改めて感謝申し上げます。

これから、秋聲音楽部もますますお慶びします。

第68回 東京岩高会総会開催される



活動報告・会計報告並びに鎌田正聰会計監査から監査報告が行われました。
引き続き次年度の計画案・予算案の発表があり承認されました。
今年の特別プログラムは、三浦修さん（昭56年）による「国立国会図書館・デジタルでファミリーヒストリー」で国立国会図書館のデータ検索で先祖や家族の歴史や軌跡を知り得ることができるかもしれない興味深いお話でした。
引き続き、菅原一顧問（昭31）による乾杯で懇談が始まりました。
主席者からのスピーチ及び長寿お祝いとして、古希（70歳／昭48）、喜寿（77歳／昭41）、卒寿（90歳／昭28）を迎えられた方に、無病息災・長寿祈願へと、菅原由美子先輩（昭49）ご厚意による高野山（和歌山県）のお礼が贈られました。
会の締めとして山本信子さん（昭46）による校歌と応援のフレーフレーが行われ、閉会の辞は鎌田正聰会計監査（昭35）が行い、閉会となりました。
（記 長沼和秋）

今回の総会においても、後藤 仁 先輩（昭45）から、ご厚意でとても多くのお芋を頂き、出席者に配られました。
議事進行は和久充幹事（昭47）が議長に選出された後、浅野和優幹事（昭48）から

- 東京栗駒会
会長 伊藤 税様（昭44）
- 迫桜同窓会東京支部
支部長 亀山 晶子様
事務局長 阿部 武寿様
幹事長 岩淵 睦朗様
- 築館高校同窓会東京支部
支部長 三好 加津子様
監事 白鳥 道様
- 仙台北支部
支部長 豊嶋 潤様
笠原すみえ様（川政）
安住美和子様
- 本部本校
会長 蘇武德行様（23代校長）
学校長 村上孝志様

開会の辞は加藤旭孝幹事（昭36）による開会宣言が行なわれ、支部長の長沼の挨拶で総会の幕を開きました。本部同窓会からは蘇武德行会長、仙台北支部からは豊嶋潤支部長（昭60）、最古高野山は吉野玲子先輩（昭28／90歳）も出席されており、来賓の挨拶として、蘇武德行会長、村上孝志校長先生から故郷及び本校の近況報告がありました。

地域の未来をひらく一歩を。 「母校とふるさとをつなぐ挑戦」



三浦 大樹
平11年卒
栗原市岩ヶ崎在住

地元 岩ヶ崎で地域おこし協力隊として活動されクラフトビール醸造所を立ち上げられている三浦大樹さんにお話を伺いました。

(インタビューアー 長沼和秋)

■20数年住んだ仙台から六日町通り商店街シャッター開ける人！ 地域おこし協力隊として栗原に戻られた理由は？

仙台で会社員として働いていた頃、「岩ヶ崎高校がなくなるらしい」という噂を耳にしました。全国で生徒数減少による高校の統廃合が進む中、根も葉もない噂とわかってはいても、母校を愛する私には大きなショックでした。この出来事をきっかけに地元への想いを再認識し、「栗原に戻って地域のために働く」と決意しました。

■その時ご家族はどのように思われましたか？

妻に話すと、「人生は一度きり。やりたいことがあるならやった方がいいよ」と背中を押してくれました。当時、妻は仙台・国分町で長年ヘアメイクの仕事をしており、栗原に来

ることでその仕事を手放すことになりました。それでも応援してくれたことには感謝しありません。今では畑や狩猟に挑戦し、ヘアメイクの技術を活かせるかもと着付け教室に通ったり、山車づくりに参加したりと、栗原での暮らしを楽しんでくれています。

■地域おこし協力隊の活動には国や市からの支援はありますか？

地域おこし協力隊は総務省が行っている制度で、市を通じて報酬が支給されます。任期は最長3年間で、自治体ごとに異なるミッションがあります。地方移住や地域づくりに関心のある方には、ぜひ活用してほしい制度です。

■地域おこし協力隊他にはどのような方がおられますか

栗原市には現在およそ15人の協力隊員がいます。私が活動していた六日町通り商店街(栗駒岩ヶ崎)には、現在4名の隊員が在籍しています。(私は2025年3月で任期を終えました。)私のようなUターンは少数派で、ほとんどが県内外からの移住者です。元編集者、飲食業出身、YouTuberなど、多様なバックグラウンドを持ったメンバーが集まっています。

■クラフトビール醸造所を作られたのは？

現在「クリコマヤビール」の醸造所を立ち上げ中です(令和7年3月時点)。もう少々

てくれる、もしくは市外から地域の事を考えてくれる、そんな未来を描いています。

■母校で地域コーディネーターとしてどのような活動をしていますか？

岩ヶ崎高校では、総合的な探究の授業で生徒と関わっています。地域の「人」をテーマに、生徒と地域を結ぶプロジェクトに取り組んでいます。たとえば、特産品開発に関心のある生徒と地域の方とのワークショップを30名程で開催し、いくつものアイデアが生まれました。他にも、書店で読書会を開いたり、地産地消弁当を地域の料理家が実現したりと、多様な取り組みが広がっています。

■三浦さんの高校時代と今の母校の生徒たちの違い感じられますか？

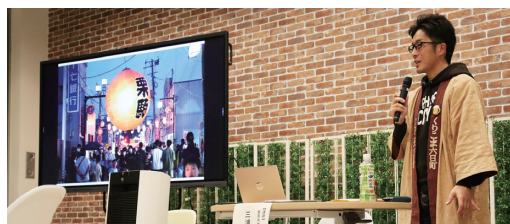
生徒数が減った分、少しおとなしく感じることもあります。雰囲気は変わっています。不思議なものです。先生も生徒も、昔と同じように素直であたたかい。上の世代の方も同じように感じると言っていました。

■生徒たちがすごい、素晴らしいと感じるものは？ 母校の魅力は？

勉強、部活、探究活動など、すべてに対して真剣に取り組む姿勢に刺激を受けます。軽音楽部や科学部の全国大会出場、進学実績、地域活動など、その結果には努力が表れています。そうした生徒たちのびのびと成長できる温かい校風が、母校の変わらぬ魅力だと思います。



栗原市公式TikTokで移住PR



講話で地域のPR



岩高生と地域の方たちが実施したワークショップ

でお届けできるかと思っています。仙台で会社員だった当時、栗原に帰って事業を起こし、地域に貢献したいと考えました。「何をやれば地域の方たちが応援してくれるだろうか？」を軸に模索した結果、地元の特産品を活かし、地域のクリエイターやお店と一緒に取り組めるクラフトビールにたどり着きました。

■始めるにあたり資金はどうされましたか？

融資に加え、クラウドファンディングで支援を募りました。結果として498名の方から5,656,500円のご支援をいた

■一方でパイセンとしてこうあって欲しい、望むものは？

一歩踏み出す「チャレンジ精神」を持ってほしいです。今は情報が多く、正解を探して足踏みしてしまう時代かもしれませんが、私が挑戦する姿を見せることで、「やっていいんだ」と思ってくれたら嬉しいですね。

■お仕事のお話ではありませんが、高校時代の思い出、印象深かったことがありますか

毎日が忙しくて楽しくて…そんな印象ばかりです。型にはまらない私を、「大丈夫だよ、やってみな」と大きく受け入れてもらっていた気がします。私が栗原に帰って挑戦できているのは、間違いなく岩高での日々があったからです。今、こうして地域コーディネーターとして母校と関わっていることが、本当に幸せです。



くりこま夜市にてビールを限定販売



栗原の田園風景

東京でふる里の心を活かす栗駒会

東京栗駒会

会長 伊藤 税(昭44年卒)

千葉県印旛郡栄町安食台2-27-28

TEL 090-4170-5596

銀座ライツ法律事務所

弁護士 鎌田 正 聡(昭35年卒 尾松出身)

事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目10番9号 KEC 銀座ビル 6階

TEL 03-3546-0281 FAX 03-3546-0280

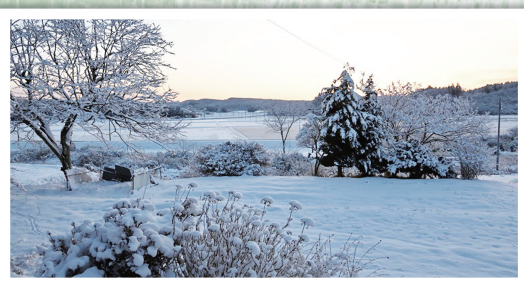
URL <https://www.ginza-rights.jp/index.html>

「栗駒山の里だより」
ワールド



土井 祐之
昭54年卒
栗原市鳥矢崎在住

東京岩高会ふるさと大使 土井 祐之
さんのブログ「栗駒山の里だより」か
らご紹介頂きました。



この冬最大の積雪は10センチ



たっぷりの雪をいただいた栗駒山



駒形根神社と御神体の栗駒山



花山、浅布溪谷



ポニーの親子



円鏡寺の枝垂れ桜



長沼のハスの花



大学食堂の五目焼きそば



地酒飲み比べ



ひこばえの稲穂を食べにくる白鳥



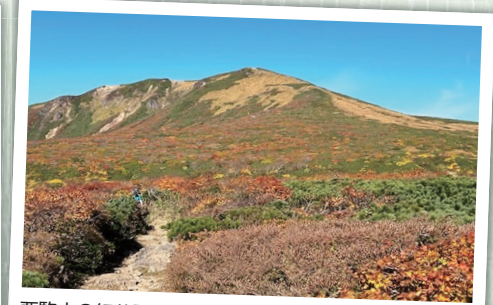
岩高軽音楽部がテレビで紹介される



一関から見える栗駒山の残雪「本寺きつね」



くりこま商家のひな祭り



栗駒山の紅葉写真が届きました



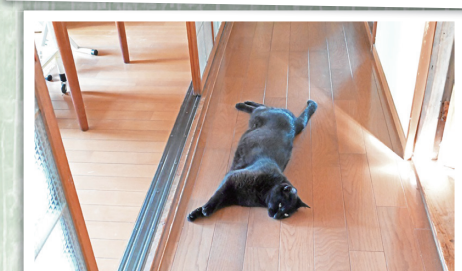
館山公園から眺めた駅前通り



山車まつり



新しくなった栗駒山山頂の駒形根神社奥宮



猛暑のわが家



深谷のひまわり畑



更地が増える岩ヶ崎の街並み



春の味覚メカブ



鷺沢新橋の白鳥



岩ヶ崎の大橋上流が刈払われ、さっぱりしました



温湯温泉佐藤旅館のイワナの笹かまぼこ



サンマ漁出だし好調、久しぶりに焼いてみました



桜田山神社のおみくじ売り場



くりこま夜市

鶴ヶ鮎 駒ゆべし 季節の和菓子

岡本老舗

宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎六日町 38

☎ (FAX) 0228 (45) 1052

代表：岡本 浩一 昭53年卒 岩ヶ崎出身

「みやぎの環境にやさしい農産物」認証

くりこま高原米

栗駒山の清流で育まれ 食味最高

農業生産法人 有限会社くりこま高原ファーム

〒989-5341 宮城県栗原市栗駒稲屋敷大尻 6 番地

TEL0228-45-2893 FAX0228-45-5425

※大変申し訳ございませんが、令和6年産米は売り切れいたしました。

URL <https://kougenfarm.jp/>

宮城・栗駒産
ひとめぼれ
くりこま
高原米

ぼくらが
地球の応援団。

特別寄稿

岩高会のこと



笠原 すみえ
(旧姓 熊谷)
昭48年卒
鷺沢出身

仙台に住んでいる私の先輩に誘われて、「東京岩高会総会」に初めて参加したのは平成23年のことでした。そこで毎年還暦を祝う行事があることを知り、58歳だった私は一緒に参加していた同期生の千葉正宏さんと2年がかりで東京在住の同期生に声掛けしたところ、何と17名が還暦祝いに参集し同窓生の皆さんに還暦を祝って頂くことが出来ました。本当に有難うございました。あれから10年、毎年「東京岩高会総会」に参加するのを楽しみにしています。

仙台に居を構えて、夫の祖母が経営していた料理店「川政」の暖簾を引き継ぎ、料理人の夫と共に昭和54年から営業している中、岩高で教鞭をとられた先生方、事務職員の方々と構成された「岩高会」があることを知りました。佐藤三之先生の計らいで、私の店「川政」を会場に毎年10月の第四土曜日の開催が恒例となりました。参加人数も20名を超え毎年盛況だった会も東日本大震災を境に、先生方の高齢化やコロナ禍などの影響もあり参加人数が減ったところに、会場と

なっていた「川政ビル」が老朽化に伴う解体で閉店することになり、昨年(令和6年)10月26日(土)をもって「岩高会」の幕を下ろすことになりました。長きに渡り「岩高会」を支えて下さった佐藤三之先生、河野民帆先生に心から感謝申し上げます。そして「岩高会」の散会にわざわざ東京からかけつけてくれた石野久恵ちゃん、安住美和子ちゃん、本当に有難う！。最後の会に美しいお酒とお料理と楽しいお喋りに時の経つのも忘れ名残り惜しいお別れになりましたが、皆様へ心から感謝を申し上げご健康とご多幸をお祈りします。

そして「川政」は閉店しましたが、皆さんとの触れ合いが忘れられず、今年2月に「川政ビル」の隣に私の店「酒・旬彩寿みゑ」を開店しました。お酒を飲まない方も立ち寄り、お喋りやひとときを入れられるゆったり出来るお店です。

「酒・旬彩寿みゑ」

カラオケあり

仙台市青葉区一番町4丁目4-8

仙台協立第5ビル 4F

022-395-6111

営業時間

15:00 ~ 21:30

(休:日・祝日)

恩師



石野 久恵
昭48年卒
細倉出身

令和6年10月26日、仙台市にある「川政」に岩ヶ崎高校の先生が毎年集まっているとのことで、安住美和子さんと私の2人で参加してきました。集まったのは河野民帆先生(幹事)、高橋直見先生、山田守先生、庄司賢三先生、高橋勇弥先生、庄司尚勝先生の6人です。佐藤三之先生はお姉さんが危篤との事で急遽不参加でした。

岩ヶ崎高校は大学出たての新任の先生が多く、新任の頃はよく失敗をしたと口をそろえて言っていました。集まった先生の多くは、ほぼ毎日「文字屋」でお酒を飲んでいたなあと思います。

若い先生達なので野球チームを作り、若高や築高と野球の試合をしたりして、岩高は強かった？ と話してくれました。終始ニコニコ顔の高橋直見先生は新幹線で尾松からの参加です。庄司賢三先生は「バイク事故の停学を伝える生徒の自宅を訪問したが、両親が今日帰ってこないの、俺がカレーを作って2人で食べて2人で寝た。そんな彼が今では全国技能訓練の会長

年会費ご協力者・収支報告

令和7年6月30日現在

No	号	年	氏 名
76	S	49	畠山 純子
77	S	49	渡部 由利子
78	S	50	熊谷 純一
79	S	50	菅原 俊雄
80	S	51	古舘 芳子
81	S	52	菅原 節子
82	S	52	高橋 聖
83	S	52	星 光男
84	S	53	小野寺 伸也
85	S	53	高橋 良哉
86	S	53	長沼 和秋
87	S	53	山口 真貴
88	S	54	佐藤 隆仁
89	S	55	菅原 広巳
90	S	55	二本木 栄子
91	S	56	阿部 豊
92	S	56	三浦 修
93	H	元	武内 里恵

年会費ご協力者

令和6年度(令和5年11月1日～令和6年10月31日)

No	号	年	氏 名
26	S	34	横川 朝治
27	S	35	鎌田 正聰
28	S	35	菅原 幸二
29	S	35	須田 和恵
30	S	36	加藤 旭孝
31	S	36	久保田 信子
32	S	36	濁沼 松郎
33	S	36	穂積 宏哉
34	S	37	安倍 さつ子
35	S	37	伊藤 克侑
36	S	37	熊谷 栄子
37	S	37	佐々木くに子
38	S	37	菅原 三千男
39	S	37	鈴木 晃
40	S	37	須田 陽子
41	S	37	津田 久子
42	S	37	安川 ムチ子
43	S	37	結城 家寿子
44	S	37	吉川 とみ子
45	S	38	只野 和夫
46	S	39	氏家 宣彦
47	S	39	佐々木 元子
48	S	39	佐藤 次夫
49	S	40	小山 ハルミ
50	S	40	高橋 節郎

No	号	年	氏 名
51	S	40	三浦 幸喜
52	S	41	鈴木 仙治郎
53	S	41	蘇武 巖
54	S	42	小川 晶平
55	S	42	佐藤 寛逸
56	S	42	佐藤 美喜子
57	S	44	伊藤 税
58	S	44	織山 エイ子
59	S	44	佐々木 敏行
60	S	45	伊藤 初雄
61	S	46	浅野 弘巳
62	S	46	伊藤 光男
63	S	46	菅原 正雄
64	S	46	山本 信子
65	S	47	太田 洋子
66	S	47	菅原 修悦
67	S	47	和久 充
68	S	48	浅野 和優
69	S	48	石野 久恵
70	S	48	梶本 啓
71	S	48	千葉 繁典
72	S	48	本田 みき子
73	S	48	密島 眞夫
74	S	49	佐々木 哲夫
75	S	49	菅原 由美子

敬称略

東京岩高会は、皆様方のご理解・ご支援のもとで支えられております。
これからもよろしくお願い申し上げます。

東京岩高会役員 一同

会 計 報 告

(令和5年11月1日から令和6年10月31日)

単位:円

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前期繰越金	475,938	総会費用	480,391
年会費(97名)	339,000	総会二次会費用	62,007
広告料(5名)	65,000	新年会費用	44,000
総会会費(60名)	475,000	慶弔費	3,960
総会ご祝儀(13名)	74,000	事務用品費	2,220
総会二次会費(29名)	61,000	旅費交通費	61,310
新年会費(8名)	48,500	会議費	48,820
助成金	100,000	通信運搬費	69,047
利子	80	会報費	348,994
		年会費手数料	17,448
		手数料	1,770
		本部等総会参加費	37,000
		次年度繰越金	461,551
計	1,638,518	計	1,638,518

会計予算案

(令和6年11月1日から令和7年10月31日)

単位:円

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前期繰越金	461,551	総会費用	350,000
助成金 本部	70,000	総会二次会費用	40,000
年会費	350,000	新年会費用	40,000
広告料	50,000	会報費	350,000
総会会費	350,000	通信運搬費	70,000
総会二次会費	40,000	慶弔費	5,000
新年会費	40,000	事務用品費	5,000
		会議費	30,000
		総会参加費(交通費含む)	100,000
		年会費手数料	20,000
		手数料	2,000
		予備費	349,551
計	1,361,551	計	1,361,551



後列右より:庄司賢三先生、河野民帆先生
前列右より:山田守先生、安住美和子さん、高橋直見先生、
石野久恵さん、庄司尚勝先生、高橋勇弥先生、笠原すみえさん

他にも楽しそうに話し「新しい川政」で来年会いましょうと話していました。

■ 若き日の先生方



高橋直見先生



庄司賢三先生



庄司尚勝先生



河野民帆先生



高橋勇弥先生



山田守先生



オフィスのライフラインを 賢くサポート

理工事務機株式会社

代表取締役 亀 井 賢太郎

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44-2 神田TNKビル
TEL. 03-3293-8955 FAX. 03-3292-0140

<https://www.ricohjimuki.co.jp>

不動産のことならセイトグループへご相談ください。

～不動産の総合窓口～

「目指すのはマーベラスな家づくり、街づくり」をモットーに、
私たちは住まう方にとって、
大切なお住まいが長く、安全に、安らぎの空間となるような
お手伝いを心掛けております。
また、ご資産物件のご紹介、お手持ちの賃貸物件の管理もお任せください。



JR 中央線国分寺駅南口徒歩 3 分



株式会社 **西都建物**

〒185-0021

東京都国分寺市南町 3-22-11

TEL: 042-300-2111

HP はこちらです→



株式会社 **マレード**

注文住宅・建売住宅



株式会社 **ムサシホームズ**

賃貸管理・不動産売買



株式会社 **セイトリフォームサービス**

メンテナンス・リフォーム

(株)マレード店長 佐々木 哲夫 (昭49卒・鶯沢出身)

東京岩高会に対し長年ご支援・
ご協力を頂きました亀井榮利さん
(昭26)は令和6年8月4日にご
逝去されました。亀井先輩は総会
及び各種会合等にはいつもお越し
頂き、穏やかで優しい口調で「鶯
沢の関根出身、旧姓門伝です」と
お話されていたことが印象的です。
理工事務機株式会社では取締役会
長を務められ、現在はご子息の賢
太郎さんが代表取締役になられて
います。また一人大先輩とお会い
できなくなることは寂しい限りで
すが、先輩方が築いてこられた同
窓会への篤い思いをしっかりと受け
止めさせて頂きます。

合掌

長沼



訃報

東京岩高会の活動

2025年
第67号

令和7年7月13日 発行

発行人

宮城県岩ヶ崎高等学校同窓会東京支部東京岩高会

支部長 長沼和秋

印刷・有第一コミュニケーション



本部同窓会 R6.8



会報発送 R6.7



役員会 R6.6



ふるさと販売 R6.7



追桜同窓会東京支部総会 R6.10



菅原敦夫先生銀座にて個展 R6.11



築高同窓会東京支部総会 R6.7



仙台支部総会 R7.2



四校会 R7.2



東京栗駒会 R6.6



同窓会入会式 R7.2



本部同窓会 R6.8



大塚商人まつり R6.10

東京岩高会 年会費ご協力をお願い

皆様方から頂いた貴重な年会費が活動の支えになっております。昨年は93名の皆様方から浄財を賜りまして、真に有難うございます。本年も引き続き倍旧のご協力の程、宜しくお願い致します。

(1) 年 会 費：3,000円

(2) 振 込 期 限：10月31日(金)までに同封の郵便振替用紙にて郵便局での振込みをお願い致します。

※お振込み手数料は、ご負担の程、お願い致します。

東京岩高会 支部長 長沼和秋
幹事一同